

事前評価個表

整理番号	18
------	----

地域（地区）名	あさひかわ 旭川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岡山県	対象市町村	まにわし 真庭市ほか5市町村
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は県中央部に位置し、北部は中国山地を形成する1,000m級前後の山が連なり、中部は標高300～600mで台地上に広がる吉備高原地域の一角を形成しており、南部は100～300mの小起伏の低山から岡山平野へ、そして瀬戸内沿岸へと続いている。</p> <p>本地区の民有林面積は126千haであり、県下の森林面積の28%を占めている。人工林が48千ha、天然林が74千haであり、人工林率は38%と県平均とほぼ同率となっている。人工林の齢級構成は3～12齢級の林分が65%を占めており、奥地林等において整備の行き届いていない森林が存在していること及び持続的な木材の安定供給に支障をきたす齢級構成の偏りが課題となっている。このため、森林の育成段階に応じた適切な保育や間伐、伐採後の適確な更新等の施策を着実に実施する必要がある。</p> <p>本地区の北部は、本県の主要な林業地を形成し、優良な「美作材」の産地として発展してきたため、木材等生産機能の高度な発揮が求められる。一方、南部は人口集中地であることから、水源涵養や国土保全等といった森林の有する公益的機能の高度な発揮が求められる地域である。</p> <p>本事業は、関係市町村が策定した市町村森林整備計画との整合を図り、森林の有する公益的機能を高度に発揮させるために必要な間伐や再造林等の森林整備を推進するとともに、これらの効率的な実施及び木材等生産機能の維持増進を図るために必要な路網の整備を実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,165ha</p> <p>人工造林、樹下植栽等、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐、森林作業道整備、付帯施設等整備</p> <p>路網整備：4,678m</p> <p>林道開設</p> <p>総事業費：4,094,515千円（税抜き3,722,286千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=5.31</p> <p>（総便益（B）=27,695,937千円、総費用（C）=5,214,157千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 公益的機能の持続的な発揮やC L T等の新たな木材需要に対応するため、間伐を中心とした効率的かつ適切な森林整備が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 路網の整備により効率的な森林整備を推進することとしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 適切な森林整備及び路網整備により、水源涵養や国土保全等といった森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて、木材の安定供給の確保が期待されることから、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

# 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岡山県

地域(地区)名：旭川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,711,854	
	流域貯水便益	1,840,742	
	水質浄化便益	7,450,027	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,483,567	
環境保全便益	炭素固定便益	945,477	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	651,700	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	380,743	
維持管理費縮減便益		231,827	
総 便 益 (B)		27,695,937	
総 費 用 (C)		5,214,157	
費用便益比	$B \div C = \frac{27,695,937}{5,214,157} = 5.31$		

# 森林環境保全整備事業 旭川地域(岡山県)

